

支持スパン, 試験体の外寸を記載してください。
(チェックリスト②)

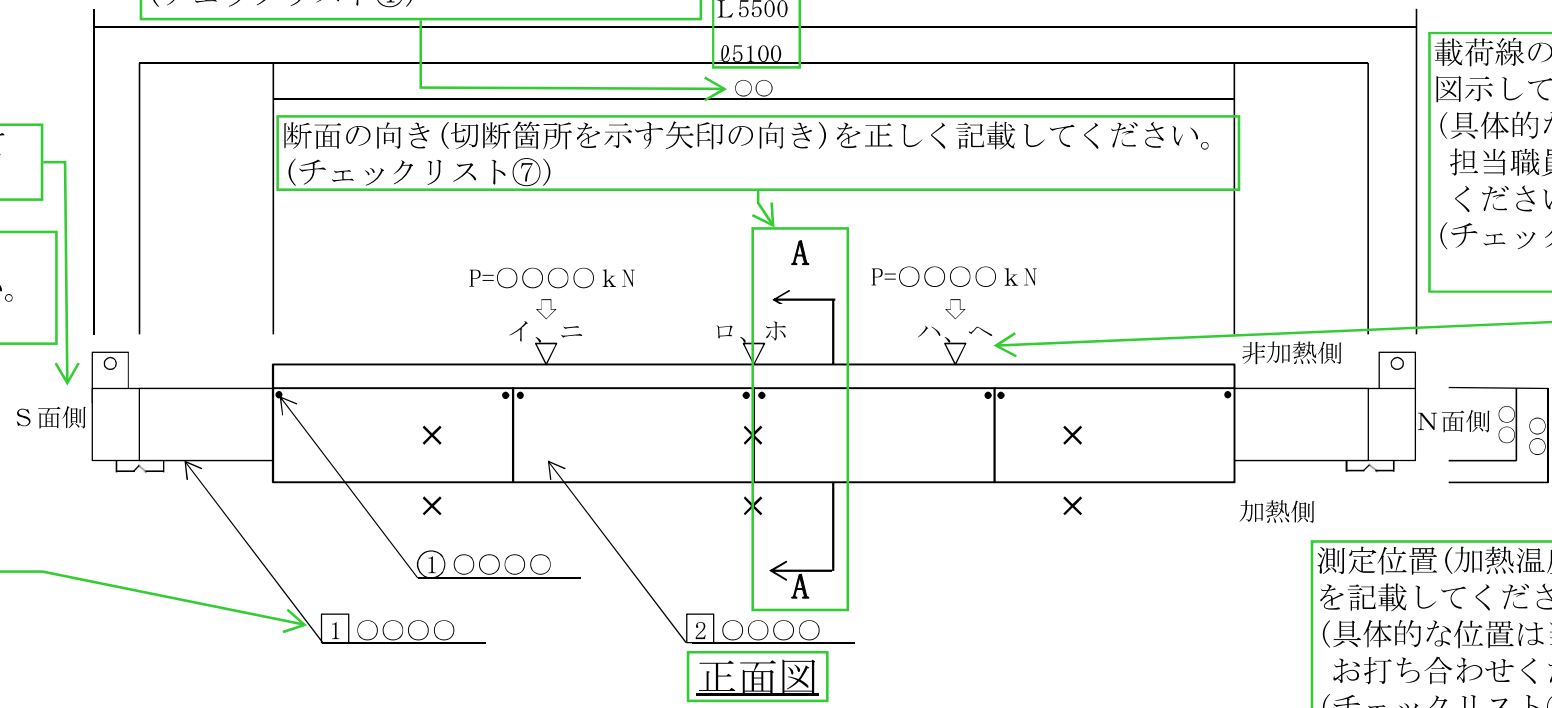
被覆材の施工範囲を記載してください。
(チェックリスト④)

載荷線の位置、荷重を
図示してください。
(具体的な位置は当所の
担当職員とお打ち合わせ
ください。)
(チェックリスト③)

方位を記載して
ください。

試験体の使用材料は
全て図示してください。
(チェックリスト⑪)

断面の向き(切断箇所を示す矢印の向き)を正しく記載してください。
(チェックリスト⑦)



項目名(材料名)
および項目番号は
評価図書と整合させ
てください。
(チェックリスト⑫)

測定位置(加熱温度、たわみ量)
を記載してください。
(具体的な位置は当所担当職員と
お打ち合わせください。)
(チェックリスト⑤)

- ・立面図、断面図を図示してください。(チェックリスト①)
- ・必要に応じて詳細図を追加してください。(断面、目地、金物詳細図)(チェックリスト⑧)
- ・寸法は全て限定してください。(チェックリスト⑩)
(「以上」・「以下」などの範囲表記としないでください。)
- ・A4で出力した時に適切な文字サイズにしてください。(チェックリスト⑬)
- ・鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に用意してください。(チェックリスト⑭)
※鋼材温度測定位置は載荷治具付近を避けてください。

測定位置の凡例を記載してください。
(チェックリスト⑥)

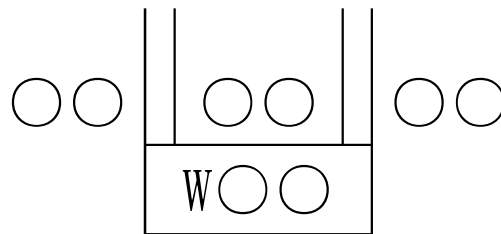
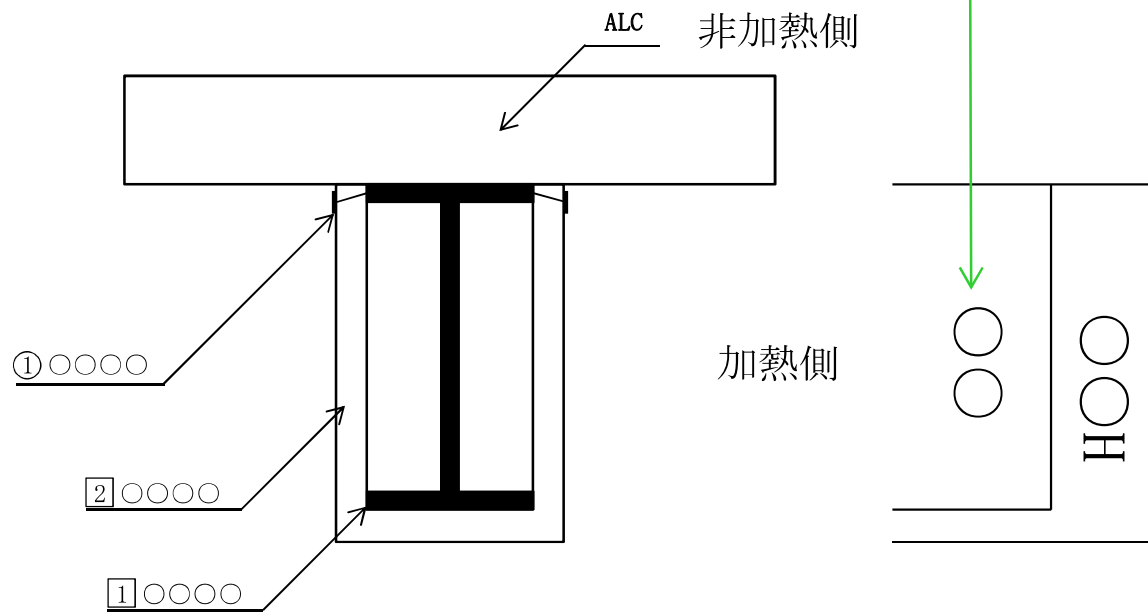
凡例
 × : 加熱温度測定位置(9箇所)
 ∇ : たわみ量測定位置(イ~へ)

図-1 試験体図(寸法単位: mm)

図のタイトルを記載
してください。

図面枠はヘッダーやフッターと重なるので
記載しないでください。

寸法を記載してください。
(荷重支持部材の寸法は必ず明記してください。)
(チェックリスト⑨)



A-A断面図

図-2 試験体図(寸法単位：mm)

試験体図面作成チェックリスト(申請者様用)

試験体図作成時に、以下の内容をチェックしてください。受付から申請までの手続きをスムーズに進めるため、ご協力をお願いします。

当所でのチェックは3回に分かれます。その都度修正をご依頼させていただくことがありますので、予めご了承ください。
(受付時、評価委員会審議前、大臣申請前)

		チェック項目	申請者様 チェック 欄	メモ欄	GBRC チェックの タイミング
試験体図	立面図 ・ 断面図	① 立面図、断面図を図示してください。			受付前
		② 支持スパン、試験体の外寸を記載してください。			受付前
		③ 載荷線の位置、荷重を図示してください。 (具体的な荷重は当所の担当職員とお打ち合わせください。)			受付前
		④ 被覆材の施工範囲を記載してください。			受付前
		⑤ 測定位置(加熱温度、たわみ量)を記載してください。 (具体的な位置は当所担当職員とお打合せ下さい。)			受付前
		⑥ 測定位置の凡例を記載して下さい。			受付前
		⑦ 断面図の向き(切断箇所を示す矢印の向き)を正しく記載して下さい。			受付前
	全 体	⑧ 必要に応じて詳細図等を追加して下さい。 (断面、目地、金物詳細図など)			受付前
		⑨ 寸法を記載して下さい。 (荷重支持部材の寸法は必ず明記して下さい。)			受付前
		⑩ 寸法はすべて限定してください。 (「以上」「以下」など範囲表記としないで下さい。)			受付前
		⑪ 試験体の使用材料は全て図示して下さい。			国交省 申請前
		⑫ 項目名(材料名)および項目番号は評価図書と整合させてください。			国交省 申請前
	⑬ A4で出力したときに適切な文字サイズにしてください。			国交省 申請前	
その他	⑭ 鋼材・内部温度を測定する場合、測定位置が図示された参考図を試験体図とは別に用意してください。 ※鋼材温度の測定位置は載荷治具付近を避けてください。 ※試験体図とは別に用意してください。			受付前	